

＜質問＞**推薦入試と一般入試は併願できますか。**

＜回答＞推薦入試に不合格の場合に、一般入試に出願することができます。

＜質問＞**サイエンス推薦は「SSHに指定されている高等学校、SSHに準ずる高等学校、過去に指定されていた高等学校」のみを対象としているのですか？**

＜回答＞そうではありません。「科学に関する特別活動」に取り組んだ経験があれば出願資格を満たします。SSHプログラムはその例の1つです。また科学クラブなどの課外活動は対象になりますが、「授業中の物理、化学、生物、地学の実験」は対象にはなりません。

＜質問＞**取り組んだ活動が、「科学に関する特別活動」に当てはまるかどうか分からないのですが。**

＜回答＞科学（理科、数学、工学、情報など）に関するテーマや取り組みであれば出願資格を満たします。適合するかどうか不明な場合は学生支援部入試課にお問い合わせください。なお、検査項目の「プレゼンテーション・面接」では、科学に関する特別活動の内容に関する発表を行ってもらい、それに対する質疑応答、および志望コースの専門分野の学びに必要な基礎学力に関する試問を行います。これらによって、志望コースの専門分野に対する関心・意欲・理解などを評価しますので、それらに対応できることが必要です。

＜質問＞**プレゼンテーションではどのような準備をすればいいですか。**

＜回答＞高等学校等で自身が取り組んだ「科学に関する活動実績」についてプロジェクトを使用して発表してもらいます。その後、発表に関する質疑応答、引き続いて面接（基礎学力に関する試問など）を行います。プレゼンテーションでは、発表とそれに関する質疑応答をとおして、「理解・自己表現力」について評価します。

＜質問＞**理工学部ではどのような教員免許が取得できますか。**

＜回答＞創生工学科の各コースでは「高校（工業）」の免許が取得できます。共創理工学科では、数理科学コースで「中学・高校（数学）」、知能情報システムコースでは「高校（情報）」、自然科学コースでは「中学・高校（理科）」、応用化学コースで「高校（理科）」の免除が取得できます。

＜質問＞**中学校，高等学校の教員免許の取得を希望しています。教育学部で教員免許を取得する場合に比べて，理工学部で取得するメリットはありますか。**

＜回答＞中学校，高等学校の教員にはそれぞれの教科に関して高度な専門性が望まれています。理工学部には数学，理科の各分野（物理学，化学，生物学，地学）を専門とする教員がそろっており，教科に関する科目も多いことから，それぞれの教科の専門性をより深めることができるので，より高度の専門知識・専門技術を持った教員として活躍することができると考えられます。

＜質問＞**他コースの授業を履修することによって，例えば応用化学コースの学生が中学校（理科）の教員免許を取ることは可能ですか。（同様に，数理科学コースの学生が高校（情報）の免許を取ることは可能か。）**

＜回答＞入学したコースにおいて課程認定を受けている免許以外は取得できません。

＜質問＞**各学科コースで取得できる資格を教えてください。**

＜回答＞取得可能な資格をご覧ください。

＜質問＞**食品関係の教育はどの学科コースで受けることができますか。**

＜回答＞食品関連分野の講義は，共創理工学科自然科学コースと応用化学コースに設け，両コースの学生が受講できます。

＜質問＞**共創理工学科自然科学コースでは理科の各分野の教育研究が行われますが，学生はどのように分野の選択をするのですか。**

＜回答＞物理，化学，生物，地学の4分野を全て幅広く学びます。卒業研究で，コース所属の教員の元で卒業研究を行うので，分野に分かれるのは4年次になります。しかし，卒業研究で希望する分野に応じて，2～3年次の選択科目の履修指導を行います。